

主要施策名:(6)情報・通信基盤の整備

事務事業本数:2

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
④便利で快適な都市づくり	(6)情報・通信基盤の整備		460-1	電子自治体推進事業	情報管理課
		(1)地域情報化の推進	461-2	地域情報化推進事業	情報管理課



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 熊本県・市町村電子自治体共同運営協議会業務	熊本県・市町村電子自治体共同運営協議会への出席	参加回数	回	5	6	9	5
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(システム利用件数)	2614	5314	5683		4400	
投入コスト合計(千円)	1,837	2,144	2,026		2,011		
対象1単位あたりのコスト(千円)	1	0	0		0		
コスト評価(対前年比)	***	174.18%	(↑)	113.17%	(↑)	78.00%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 「よろず申請本舗」利用件数	「よろず申請本舗」を利用した申請件数	件	—	100	100	100
			275	107	73	
2 「行政業務支援システム」利用件数	「行政業務支援システム」を利用したファイルの送受信件数		—	2000	3700	4300
			2339	5207	5610	
* 成果未達成時の理由		電子申請は、職員採用試験の募集に利用しているが、募集人員・職種によって増減が生じている。令和元年度の募集人員が前年度に比べて約24%少なかったことが大きく影響している。				

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	c
	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	a
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
公平性	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	c
	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	c
	<input type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	c
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	c
	<input type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	c
	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	c
	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
公平性	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	c
	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	負担率【 0.00 %】
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 事業の性質上 )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	・情報化推進部会員研修で「行政業務支援システム」のマニュアルに沿った研修を実施した。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	総合判定 C		
次年度への予算反映(連動) 【27】	新型コロナウイルス感染防止の観点からも市役所に行かずに申請等が可能となる「電子申請」への取り組みはこれまで以上に重要かつ必要なものとなる。今後も電子申請できる手続き項目を増やすために「よろず申請本舗」について庁内周知を図る。行政業務支援システムの操作等について周知を図るとともに、仕組みについても理解されるよう努め、積極的な利用を推進する。		
	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	ウイズ、アフターコロナの環境下においては、電子申請の手続き項目を増やすこと、その利便性を広く周知することで利用者の増加を図っていきたい。また、インターネット環境におけるセキュリティ強化を引き続き推進していく。	評価責任者 平川 裕一
----------------------	--	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 光ブロードバンド基盤整備事業(地域情報通信格差是正事業)	超高速ブロードバンド未整備地域の整備について電気通信事業者に要望を行う。	電気通信事業者への要望回数	回	1	0	0	0
② 情報化職員研修業務	情報化推進部会員への情報セキュリティ研修を実施する。	研修の実施回数	回	1	1	1	1
③ 情報化推進計画推進業務	情報化推進計画を策定しPDCAサイクルに従い運用、改善、見直しを行う。	PDCAサイクルに従った計画の見直し	回	1	0	0	0

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算		H30年度決算		R01年度決算		R02年度予算	
	対象(市民)	67242	66850	66319	65817			
投入コスト合計(千円)	1,541	5,955	243,524	701				
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	4	0				
コスト評価(対前年比)	***	25.73%	(↓)	2.43%	(↓)	34478.97%	(↑)	

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	
1 市内の光ブロードバンド未整備地域の解消。(光回線使用可能エリアを100%にする。) 石貢・三ツ川・横島・天水ほか	光回線使用可能世帯数の割合	%	100	100	100	***
2			82.2	82.2	100	

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	玉名市総合計画、笑顔をつくる10年ビジョン、情報化推進計画で掲げていた情報通信格差(アンタルテハイト)の解消を図ることができた。 情報化職員研修業務では、情報セキュリティ監査においてセキュリティポリシー遵守の割合が低かった内容について研修を実施し、改めてセキュリティ意識の向上に努めた。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	市内全てのエリアで光ブロードバンド基盤の整備が完了したため、本事業は終了。 情報化職員研修業務は継続して実施し、職員のセキュリティ意識の向上に努める。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	これまで未整備だった地域への光ブロードバンド基盤整備が完了したことにより、地域間の情報通信格差が解消した。将来的に、5G(第5世代移動通信システム)やIoT(あらゆるものがインターネットを通じてつながることを実現する新たなサービス、ビジネスモデル)等、高度なシステムを市内のあらゆる地域で活用できる環境が整った。	評価責任者 <b>畠川裕一</b>
----------------------	--	----------------------